

患者の皆さまへ

当院では、保有する既存試料・情報を用いて下記の研究を実施しております。このような研究の実施に当たっては、研究対象者の方に研究の参加を拒否する権利が保障されております。(オプトアウト)
この研究に関するお問い合わせなどありましたら、下記の問い合わせ先までご連絡ください。
尚、研究又は他の研究機関への患者さんのデータ提供は、研究実施許可日から研究終了日の期間に行います。

記

研究機関名	市立豊中病院
研究実施許可日	2025年 3月17日
研究終了日	2026年 3月31日 まで
研究の名称	抗CD38抗体治療が輸血検査に及ぼす影響に関するキャプチャー法と他法との比較検討
研究対象	市立豊中病院で2024年4月1日以降に多発性骨髄腫に対する抗CD38抗体治療薬(ダラザレックス・ダラキューロ・サークリサ)を投与された方
対象材料	診療記録 血液材料
対象期間	令和6年04月01日～令和8年03月31日
研究の目的意義	抗CD38抗体治療薬(ダラザレックス・ダラキューロ・サークリサ)は輸血検査に影響を及ぼすため、検査の前処理が必要となり、通常の2倍以上の検査時間を要します。 キャプチャー法を使用することで上記治療薬の影響を受けにくい可能性があり、その有用性を検討することは輸血が必要な方への迅速な製剤供給につながります。
方法	抗CD38抗体治療薬を投与された方の血液検体を用い、3種類の測定方法(キャプチャー法、カラム凝集法、試験管法)で不規則抗体検査を実施し、輸血検査に及ぼす影響について偽陽性反応の有無及び反応強度を比較します。またどのような病態であれば影響を受けにくいのか、投与歴や血液検査データを解析し検討します。
個人情報の取り扱い	個人情報は院内で取り扱い、匿名化等により院外には出しません。
問い合わせ先 (研究責任者)	市立豊中病院 臨床検査部 野中 美由起 TEL:06-6843-0101